地域の景観マップ　丘陵地景観　多様な自然と人の営みが一体となった丘陵地景観の保全

a 自然の中に息づく里山景観

【特性】
- 河川の谷あいに広がる農地と集落が一体となった景観
- ハーベストの丘など、豊かな自然を活かしたレクリエーション施設のにぎわい

農地が広がる景観

丘陵地のみかん畑

【景観形成のヒント】
- 谷あいを望む眺望点からの見え方を意識する　A-1②(P15)
- 昔ながらの家屋が並ぶまちなみ、堺から見える樹木などをできるだけ保全する　A-2①(P17)
- 新しい住宅を計画する時もまちなみの連続性を意識する　A-2②(P18)

b 南部丘陵地の自然景観

【特性】
- 丘陵地に残る樹林地やため池、河川など、四季の変化に富む豊かな自然が生み出す景観

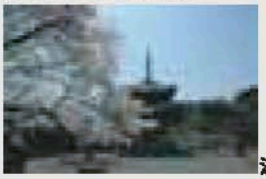
内河池及びその周辺

堺自然ふれあいの森

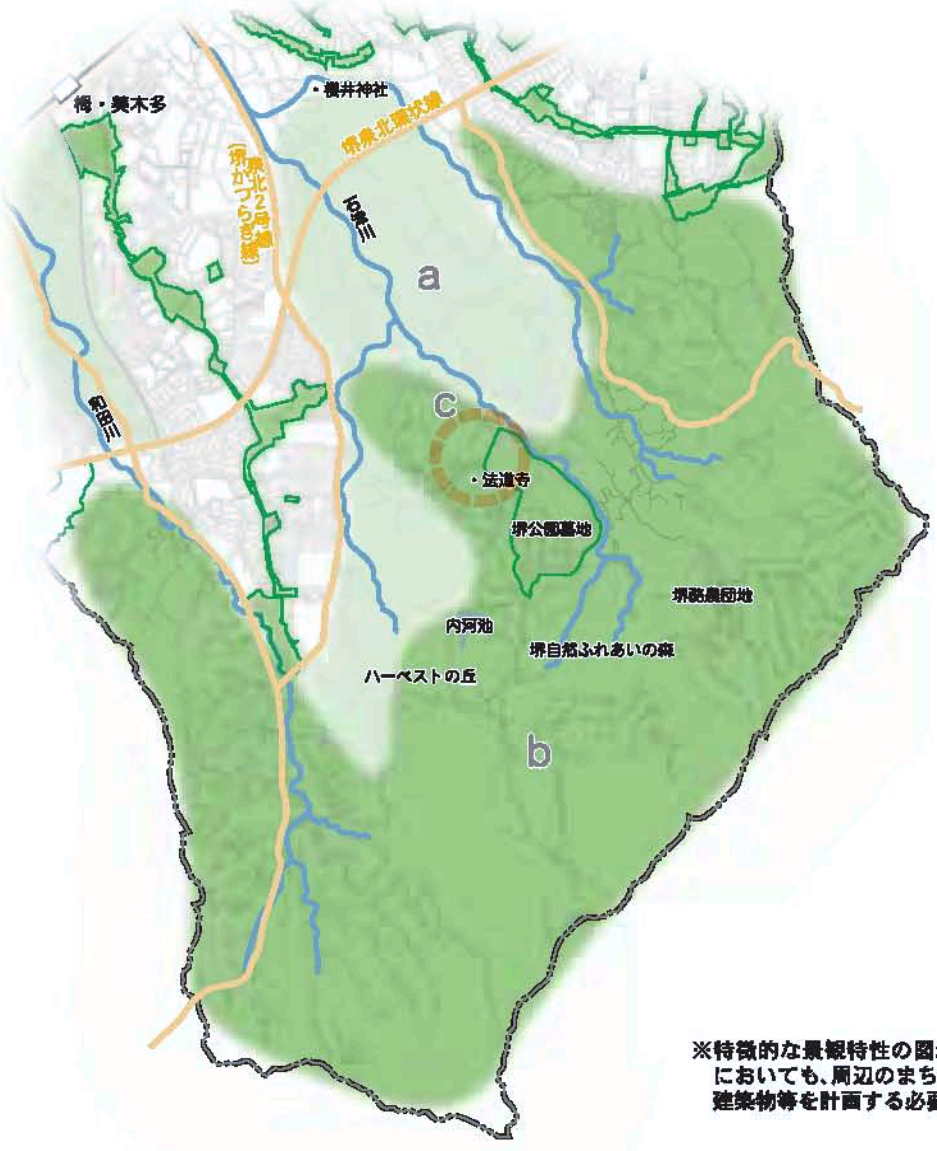
【景観形成のヒント】
- 丘陵地の樹林地、ため池や河川など自然資源を保全する　A-1①(P14)
- 幹線道路などからの眺望や、背後の丘陵地と調和させる　A-1②(P15)
- 自然資源を計画に積極的に採り入れる　A-1③(P16)
- 貴重な植生の保全、回復を図る　A-1③(P16)

c 名刹が生み出す歴史ある景観

【特性】
- 法道寺をはじめとする歴史と文化を感じることのできる景観


法道寺

【景観形成のヒント】
- 良好なまちなみ要素を保全・継承する　A-2①(P17)
- 集落の家屋や寺社・仏閣などの歴史的資源と調和させる　A-2②(P18)



※特徴的な景観特性の図示がない地域においても、周辺のまちなみに応じて建築物等を計画する必要があります。